

第 2 回運営推進会議

●開催日時…平成 29 年 6 月 17 日(土)17:00～

●参加者

ご利用者様、ご家族様

・『堺第 4 地域包括支援センター』 A 様

・B 様(ケアマネジャー)

・『エントレリハ』 C 様

・『デイサービス・宅老所みい・つー』 管理者・相談員 吉田、生活相談員 菊池
看護職員 伊藤

はじめに

この度はお忙しいところ、足をお運び頂き誠にありがとうございます。前回の推進会議から約半年経ちましたので、第 2 回運営推進会議を開かせていただきます。前回同様、ご要望または助言を聴く機会でありますので、皆様の率直なご意見を頂戴し、今後のサービスに反映させていただきたいと思いをします。

①ヒヤリ・ハット報告(2 件)

まずヒヤリ・ハットとは、業務中に職員が「ひやっ」とした「はっと」した事(例、利用者様が立ち上がる際にふらついたなど)を終礼時や会議などで話し合い、今後のより良い安全なサービスにつなげていく事を目的としたものです。前回の会議(平成 28 年 11 月～平成 29 年 6 月)から 12 件ありましたうち 2 件ご報告させていただきます。

1 件目

平成 29 年 2 月 8 日(水) 昼 12 時頃 食事形態がミキサー食の M さんが、前の席の Y さんの食事(刻み食)に手を伸ばし刻んだ玉子焼きを食べようとしたのを、近くにいたスタッフが発見し急いで皿を下げた。

<もし召し上がっていたら>

通常からミキサー食の方が刻み食の物を食べると誤嚥する可能性が高く、最悪の場合は誤嚥性肺炎もありえた。

<再発防止策>

M さんの手の届く範囲には食べ物を置かない。食事時は見守りを徹底する。

<その後>

平成 29 年 6 月時点は同様の事例はおこっていない。

2 件目

平成 29 年 5 月 22 日(月)14 時ころ Tさんがレクリエーションに参加する為、席を立ち歩行している際、足が出にくくなり前かがみによろけたが、前後で見守りしていた職員 2 人が支え転倒には至らなかった。

<もし近くに職員がいなかったら>

Tさんは軽度の右マヒがある為、よろけた際本人様のレベルでは安定した姿勢に戻る事は困難である。万が一転倒した場合は頭部など机や椅子にぶついたり、骨折の可能性があった。

<再発防止策>

ご本人より自宅や散歩中でもよく転倒しているなどの報告を頂いていたので、近くで職員が見守りをしていてフロア内で転倒される事はなかった。今後も歩行の際の初期動作時は安定するまで見守り・声掛けを徹底していく。

<その後>

平成 29 年 6 月時点では同様の事例はおこっていない。

②地域への取り組みは？

前回の会議の際、ここみい・つーが相談(介護にまつわる悩み)の場所やパソコン・外国語等の勉強会など、介護以外の情報交換場になればとその後、検討してきました。現在ささやかですが 2 種類の取り組みを行っております。

★1 つ目は「空気入れの自由化」です。施設前を朝・夕と沢山の自転車が通られています。この辺りは自転車屋が近くにない為、困っている方も多少はいるのではないかと思います。誰もが自由に使用できる自転車の空気入れを施設前に設置してみました。

★2 つ目は「傘の自由化」です。雨が途中で降ってしまい傘を忘れてしまった方々に施設で余っている傘を自由に使ってもらい、また通りがかった時でもいいので返却してもらえばという考えで、これも設置しました。

最後に

これらの取り組みで、介護・福祉関係以外の方も足を止め当事業所の事を少しでも知って頂ければと思っております。今後も地域の皆様の交流場や「あそこに行けば空気入れ・傘がある」「助かった～」と少しでも貢献・お役にたてるよう努力してまいります。本日はお集まり頂き誠に有難うございました。

第 2 回 運営推進会議録

事業所名	デイサービス・宅老所 みい・つー (地域密着型通所介護)	記録者	菊池克聡
日時	平成 29 年 6 月 17 日 (土) 17:00～17:45		
参加者	利用者代表様、利用者家族様 堺第 4 地域包括支援センター・A 氏 B 氏 (ケアマネジャー) エントレリハ・C 氏 デイ管理者・吉田、デイ生活相談員・菊池 看護職・機能 訓練指導員 伊藤 計 7 名 ※自治会長・D 氏は日程の調整がつかず欠席		
議題	① 参加者の自己紹介 ② 以前の会議以降から今までのヒヤリ・ハット報告 ③ 参加者からの意見等 ④ 現在行っている地域活動への取組と進捗状況等 ⑤ まとめ		
会議録	②【ヒヤリ・ハット報告】について。 資料を元に、以前の会議以降から 6 月 17 日までで 12 件あり抜粋して 2 件報告した。内容は、事例⇒対応⇒その後の防止策を説明する。※詳細は別紙資料参照 【参加者からの意見】 利用者代表⇒「このような事を話し合ってるんですね。知らなかった。」 B 氏⇒「ヒヤリ・ハットなどは、マイナスにとられる為、このよう場でなかなか言いにくいと思いますが、とてもいい取り組みだと思えます。」 A 氏⇒「私たちの所では現場だけで内容を話し合うだけでなく、各部署にノートを置き閲覧や意見を書き込み情報を共有しています。」 エントレリハ (C 氏) ⇒「エントレリハはリハビリ型なのでヒヤリは多くあります (1 日 1 回はある) が、都度改善策を検討しそれをふまえて次へ生かすためのプラスにとらえています。」 菊池⇒ありがとうございました。		

	<p>③【現在行っている地域活動】についての説明</p> <p>菊池⇒現在では、当施設前に自転車の空気入れや、雨の日には誰でも自由に使用できる傘を準備しています。もし通りがかりで傘をお持ちではない場合はご自由にお使い下さい。</p>
<p>まとめ</p>	<p>他の事業所様では、運営推進会議をするに当たって利用者様からアンケートを事前にとっておくや、地域活動には待っているのではなくこちらから積極的にイベントなどに参加しているなど貴重な意見を頂いた。次回の運営推進会議ではデイだけの防災・避難訓練の報告はもちろんの事、地域での防災について有事の際、デイでは何ができるかも考え発表していきたい。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>